

# 能代市中心市街地活性化計画

令和6(2024)年3月 能代市

中心市街地活性化ビジョン(概ね10年後の将来の姿)

チャレンジが起こり、つながり、広がり、その先へ  
～豊かな日常があるまちなか～

..... 中心市街地活性化計画の基本方針 .....

まちなかに  
つど  
**集う**

まちなかで  
あきな  
**商う**

まちなかを  
ととの  
**整える**

まちなかから  
つた  
**伝える**



# 中心市街地の課題



各種統計データや、市民・商業者アンケート、高校生インタビューや人の動きについての分析等により中心市街地の現状を把握し、中心市街地の活性化に必要な4つの課題を設定しました。

## 課題1

### 来訪・滞在の促進と賑わいの創出

- ・中心市街地は、日常的な外出先としてより多くの市民の来訪と賑わいの創出が求められる中で、「回遊を促すしかけ」や「市民が気軽に立ち寄れる場の確保」に向けた取り組みが必要です。

(イベント、お店・施設の連携、自転車・バス利用環境改善、駐車場の確保)

※回遊: 中心市街地内の様々な施設に立ち寄り、中心市街地内をめぐること。



## 課題2

### 商業機能の維持／商業の活性化

- ・中心市街地に暮らす市民の生活利便性向上が求められる中で、商店街の機能維持のための空き店舗の発生防止に向けたニーズ把握や支援が必要です。
- ・商店街が一体となった取り組みや飲食サービスの充実に取り組むとともに、勉強会を通じた課題共有や対策検討も必要です。



## 課題3

### 生活利便性／滞在快適性の向上／都市景観・魅力向上

- ・空き家・空き店舗の発生を防止し都市景観の改善を図るため、古くなった建物の利活用や使いたい人へのマッチング等の総合的な取り組みが必要です。
- ・まちなかへ居住を誘導するため、魅力ある住環境の確保が必要です。  
(駐車場や歩行空間の再配置、これらと連携した公共交通サービスの提供)
- ・不足する宿泊・飲食機能を確保するための低未利用地等の活用が必要です。

※低未利用地: 居住や業務等の用途として利用されていない、またはほとんど利用されていない土地(空き地等)。



## 課題4

### 中心市街地の情報発信

- ・既存の情報プラットフォームの発信力強化や有効利用が求められる中で、多様な世代へ情報が届く発信手法の検討が必要です。
- ・子育て世代や高校生等、誰もが情報発信に参画できる仕組みづくりも必要です。

※プラットフォーム: システムやサービスの土台や基盤となり、サービスや情報等を収集、蓄積、利用する際の利便性を支援する。

# 中心市街地活性化計画の体系



## 中心市街地活性化ビジョン

概ね10年後の中心市街地の長期的な将来の姿を示すものとして中心市街地活性化ビジョン「チャレンジが起こり、つながり、広がり、その先へ～豊かな日常があるまちなか～」を位置づけました。個々のチャレンジが様々なマッチングにつながり、中心市街地活性化のための各事業の推進を後押しすることで、10年後のまちなかをより一層魅力的なものとしていきます。

## 中心市街地活性化計画

中心市街地活性化計画は、5年間の計画の中で推進する事業の内容と、その実施主体を明確にすることで、多様な人が中心市街地に集い、賑わいが創出され、暮らしやすい機能が備わり、まちの魅力があふれている、誰もが暮らしたくなるまちなかを実現していくことを目指します。

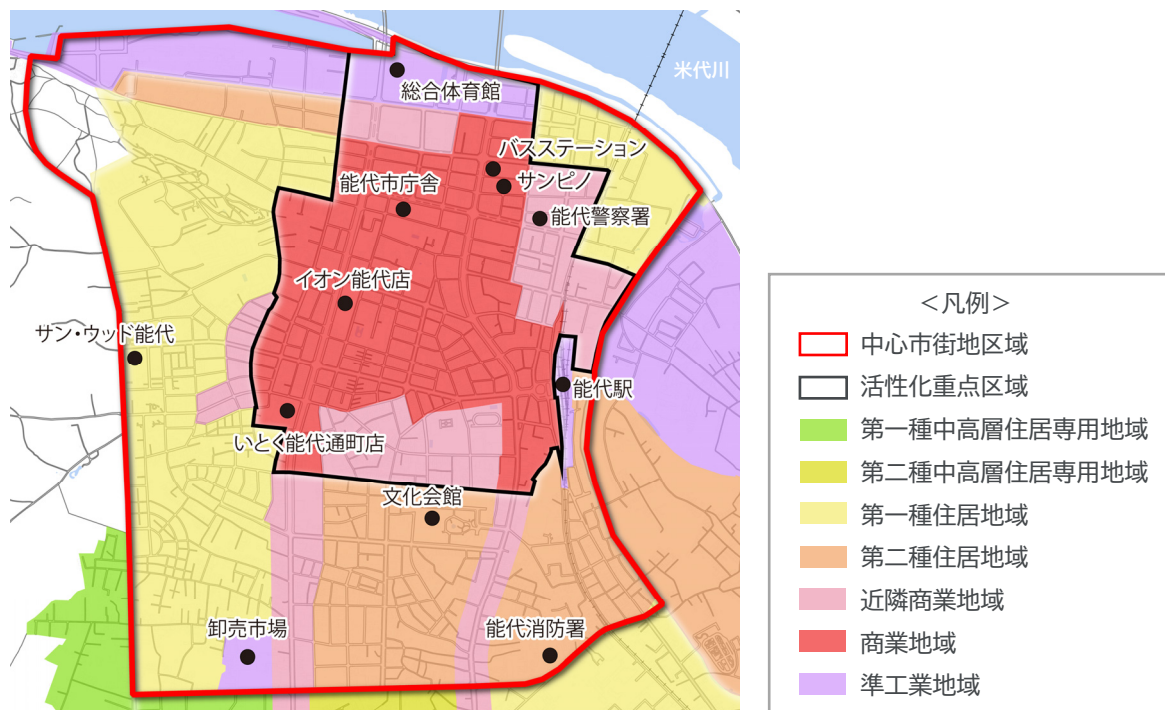
### ■ 計画期間

2024年度から2028年度までの5年間

### ■ 区域面積

約380ha(うち、重点区域 約133ha)

区域図



### ■ 基本方針

中心市街地の4つの課題を踏まえて次のページ以降に掲げる4つの基本方針を定めました。

# 「<sup>つど</sup>まちなかに集う」

基本方針が目指す5年後の中心市街地の姿

多世代、多様な人がまちなかに集い、つながり、交流が広がっています。  
魅力ある店舗、気軽に立ち寄り集まれる場が増え、子どもから高齢者まで、あらゆる人がまちなかを回遊しています。

目標  
1

いつでも来たくなる  
いつも賑わうまちなか

まちなかへの来訪機会を増やし、  
日々の賑わいを創出します

目標  
2

集う場所のある  
まちなか

必要な交流機能を確保し、  
まちなかで気軽に立ち寄れる  
場所・機会を増やします



## 事業リスト

事業名	目標①	目標②
まちなか商店街イメージアップ推進事業	●	
商店街来訪機会拡大事業	●	
商店街活性化対策事業	●	
まちなか活動支援事業	●	●
<b>新</b> 交流機能再構築事業 		●
市民サービスセンター運営事業		●
北高跡地活用調査等事業		●
まちの魅力実感イベント等の開催	●	
団体間連携推進事業	●	
能代市市民活動支援センター事業		●
マルヒコプロジェクト事業	●	●
<b>新</b> 能代駅前ホテル整備推進事業	●	
<b>新</b> ほこみち推進事業	●	●

## .. PICK UP! ..

### 交流機能再構築事業

市民プラザや畠町新拠点等の交流機能について、民間活力も活用しながら、中心市街地に幅広い年齢層の市民が気軽に立ち寄れる、交流できる場所を作ります。



# 「まちなかで商う」

基本方針が目指す5年後の中心市街地の姿

新たに商いにチャレンジしようとする人が、相談しやすく、必要な支援を受けられ、共感しあえる人達とつながり、交流が広がっています。  
既存店舗の活性化や事業承継等が図られ、商店街として必要な機能が維持されています。

目標3 商いが活発になるまちなか

まちなかのお店や商品、催しの充実を図ります

目標4 新しいチャレンジができるまちなか

まちなかで新たに商いはじめる人を応援します

目標5 働きたい人を応援するまちなか

まちなかで商いを続けたい人や引継ぎたい人を支援します



## 事業リスト

事業名	目標③	目標④	目標⑤
まちなか商店街イメージアップ推進事業	再掲		●
商店街来訪機会拡大事業	再掲	●	
商品開発推進事業		●	
商店街活性化対策事業	再掲	●	●
商店街等情報発信事業		●	
能代逸品会事業		●	
勉強会の開催		●	●
後継者対策・事業承継等推進事業			●
空き店舗等リノベーション促進事業			●
起業等促進事業		●	●
まちなかチャレンジ応援事業	●	●	●
新 ほこみち推進事業	再掲	●	
新 バスケツアーリズム事業		●	

## .. PICK UP! ..

### まちなかチャレンジ応援事業

新たに中心市街地でチャレンジしたい人への勉強会やワークショップの開催、チャレンジする機会の創出等により、その実現に向けた支援をします。



# ととの 「まちなかを整える」

基本方針が目指す5年後の中心市街地の姿

建物のリノベーションにより、現在のまちなみを残しつつ、新たな価値が創出されています。  
ホテルが立地し、市外から来た宿泊者がまちなかを回遊しています。

公共交通網が強化され、来訪者や居住者の移動の利便性が向上しています。

道路空間を活用した駐車スペースが確保され、来街者の利便性が向上しています。また、居心地がよく歩きたくなるウォークアブルな道路空間が構築され、賑わいが創出されています。

※リノベーション：既存の建物を工し、現在の住環境や地域環境にあわせたり、性能を高めたりすること。

※ウォークアブルな道路空間：沿道と路上を一体的に使って人々が集い、憩い、多様な活動を繰り広げられる「人中心」な道路空間のこと。

## 目標 6 暮らしたくなるまちなか

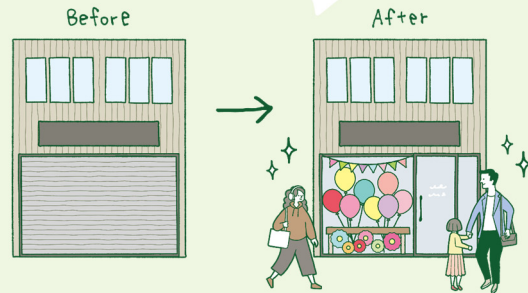
まちなかの暮らしに必要な  
基盤やサービスを整えます

## 目標 7 過ごしやすいまちなか

まちなかを訪れるひとが快適に  
過ごせる空間を整えます

## 目標 8 魅力あふれるまちなか

まちなかの景観や魅力  
ある場所を整えます



### 事業リスト

事業名	目標 ⑥	目標 ⑦	目標 ⑧
能代市巡回バス運行事業	●		
生活バス路線等維持費対策事業	●		
市民サービスセンター運営事業	再掲	●	
空家調査	●		●
移住定住環境整備事業	●		
空家バンク事業	●		
中心市街地再開発調査事業	●		
旧料亭金勇活用事業			●
木のまちづくり推進事業			●
木でつくる街なみガイドライン研究事業			●
まちなか美化運動			●
空家等解体助成			●
<b>新</b> 能代駅前ホテル整備推進事業	再掲	●	
<b>新</b> ほこみち推進事業	再掲	●	●

### 👉 PICK UP! 👈

#### ほこみち推進事業

車道・歩道を有効活用し、賑わい空間を創出します。その際に、国の「歩行者利便増進道路」（通称：ほこみち）制度の活用を推進します。



ほこみち

#### Q. ほこみちとは？

道路を「通行」以外の目的で柔軟に利用できるようにする制度

#### POINT

- ① 歩行者のためになるものを置ける
- ② 道路を占有できる人を公募できる（最長20年）
- ③ 占有料が減額される

# 「<sup>つた</sup>まちなかから伝える」

基本方針が目指す5年後の中心市街地の姿

様々な主体により、それぞれの工夫のもと、多様な媒体でまちなかに関する情報が発信され、また情報を得たことでまちなかに興味を持つ人が増加しています。

目標  
9

## まちなかの魅力を伝える

まちなかのモノ・コト・場所についての情報を、様々な手段で多くの主体が伝えます



### 事業リスト

事業名		目標⑨
商店街活性化対策事業	再掲	●
商店街等情報発信事業	再掲	●
旧料亭金勇活用事業	再掲	●
バスケの街づくり推進事業		●
木でつくる街なみ ガイドライン研究事業	再掲	●
本因坊戦誘致事業		●
まちなか美化運動	再掲	●
のしろの魅力発見・発掘・発信事業		●
<b>新</b> バスケツーリズム事業	再掲	●

### .. PICK UP! ..

#### のしろの魅力発見・ 発掘・発信事業

中心市街地にある魅力あるモノ・コト・場所・人等を発掘し、効果的な情報発信を行います。



# 計画の推進に向けて



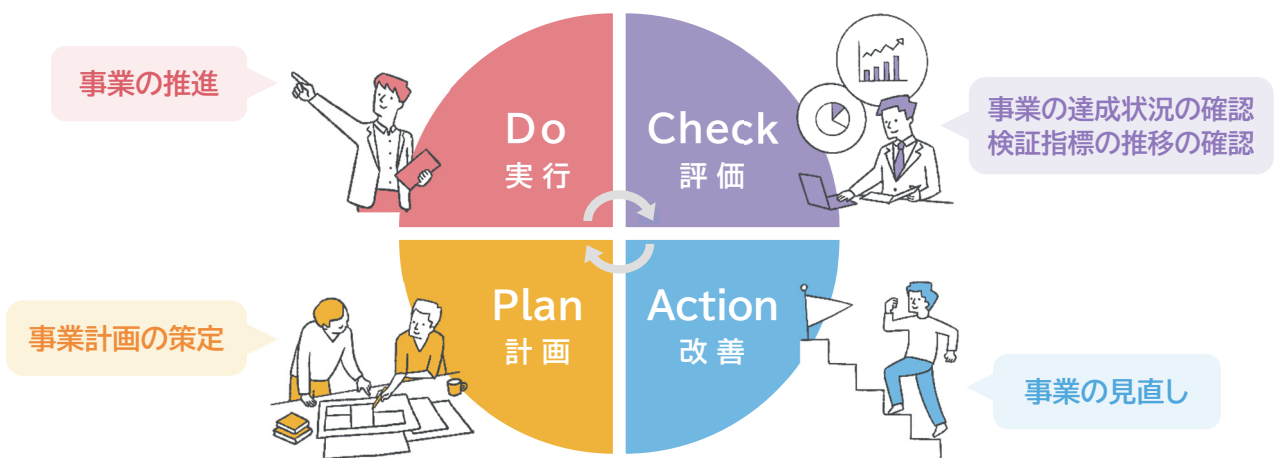
第3期計画の進捗を管理するための6つの検証指標について、毎年の推移を把握し、5年後の次期計画策定時(令和10(2028)年度)に総括的な検証を行います。

計画を適切に進めるために、PDCAサイクルの考え方を取り入れ、事業の評価や見直しを進めていきます。

## 検証指標

指標名	定義	目指す方向	対応する目標
1 歩行者・自転車通行量	中心市街地の来訪や回遊状況を検証する指標 資料:歩行者・自転車通行量調査	まちなかへの来訪機会をより一層充実することにより、人口減少の中でも、一定の通行量を維持する	目標1 目標2 目標3
2 交流拠点の利用者数	中心市街地内の交流や賑わいの状況を検証する指標 ※対象:市民プラザ、畠町新拠点、マルヒコビルヂング、旧料亭金勇、バスケミュージアム	まちなかで気軽に立ち寄り交流できる機能を充実し、利用者数を増やしていく	目標1 目標2
3 商店街等の会員数	中心市街地内の商業の活性化や商業機能の維持の状況を検証する指標 ※対象:柳町商店街振興組合、畠町商店街振興組合、能代駅前商店会	まちなかで商うの総合的な取り組みにより、まちなかで商う会員を増やしていく	目標4
4 商店街等の空き店舗数	資料:秋田県商店街実態調査	新しいチャレンジや働きたい人を応援することで空き店舗の発生抑制と、活用促進を図る	目標5
5 中心市街地の平均地価	生活基盤整備、不動産流通等による効果を検証する指標 ※対象:元町3-8、柳町13-5、通町7-24 資料:都道府県地価調査	まちなかを整える取り組みにより、地価の下落を抑制する	目標6 目標7 目標8
6 活性化に対する市民意識	中心市街地の活性化の状況を総合的に検証する指標 資料:市民意識調査	まちなかの魅力を伝えていくことで、活性化に対する市民意識を醸成する	目標9

## PDCAサイクル



お問い合わせ先



秋田県能代市 環境産業部 商工労働課

0185-89-1414 (中心市街地活性化室)